

カトリック河原町教会だより

2013年9月

エレベーター完成

祝福



聖堂前のエレベーターが完成し、8月11日(日)10時半のミサに先立ち、花井拓夫神父様による祝福が行われました。このエレベーターは聖堂と1階広場と地下を結んでいます。エレベーターの設置に伴い、聖堂への昇降機は撤去しました。(設計監理:高木建築設計室 施工:株式会社立石工業)



楽しかった 土曜学校錬成会

河原町教会土曜学校の夏季錬成会が8月8日(木)～10日(土)、日吉山の家(京都府南丹市)で行われました。指導司祭は鶴山進栄神父様。小学校2年生から6年生の21名と高校生3名、大人16名の総勢40名が参加しました。

今年のテーマは「アシジのフランシスコイエスキスを生きた人」で、聖フランシスコはどんな人だったか、教皇様はどんな人かについて学びました。



肝試し、花火、飯ごう炊さん、川遊び、スイカ割り、キャンプファイヤー……楽しい3日間でした。



鶴山神父様によるミサ

「悲しみの器」

9月14日は「十字架称賛」、翌15日は「悲しみの聖母」である。すべての人の苦しみや悲しみを一身に負い、十字架上で涙を流されたイエス。その涙を十字架の下でそのまま受け止めたマリア。私たちは、この二人の姿を思い起こす。

マリアは、「悲しみの器」である。器は下にあつて、上から落ちて来るものをすべて受け入れる。そのまま受け入れる。私たちキリスト者は、マリアに倣い、人びとの涙を受け止める奉仕者となるよう招かれている。下から人びとを支えるように召されている。そのために、「愛」という大きな恵みを受けている。愛は、悲しみの器を大きくし、低くする。さらに多くの涙を受け入れるために。



ピエタ像 ミケランジェロ

喜びを共にするためには、悲しみも共にしなければならない。悲しみの器になれる時、喜びの器にもなれる。悲しみの涙を受け止められる者だけが、喜びの涙も分かち合うことができる。受難を共にした者だけが、復活の喜びを分かち合うことができる。

8月15日の「聖母の被昇天」で復活の希望を新たにしたい。そして、マリアのように「悲しみの器」となって、復活の喜びへと至る十字架の道を歩いて行きたい。第2バチカン公会議が確認した、世界の喜びや悲しみを共にする教会、地上を旅する教会として……。

洛東ブロック担当司祭 一場 修

2013年平和旬間行事

映画観賞会

わすれない ふくしま

2013年平和旬間行事として、映画「わすれない ふくしま」の観賞会が8月11日(日)11時半より、ヴィリオンホールで開催されました。約70名の方が参加しました。



この映画は福島第一原発北西40キロの飯館村と、そこから避難したある家族のドキュメンタリー。映画を制作したのは仙台市出身の四ノ宮浩監督で、2011年4月下旬から2012年12月末までカメラを回し続けました。多くの住民が去った村は今、田畑に雑草が生い茂り、里山は荒れ放題になっています。「美しく豊かな生活が奪われた事実は忘れちゃいけない。作品をみて、それぞれが考え、できることをしてもらえれば……」と訴える監督は、福島を忘れないために、作品完成後も現地に居続けています。



映画観賞会

福島から遠く離れた関西に住むわたしたちにも、今も悲しみ苦しみと向き合っている福島の人々の想像以上に厳しい現実が、この映画から伝わってきました。わたしたちにできることは何かを考え、祈り続けましょう。

済州(チェジュ)教区 神学生との交流会

「父母の姿から信仰を受け継ぎました」

7月18日(木)から8月9日(金)まで、京都教区の姉妹教区である済州教区のヨハネ・ボスコ 金 栄一(キム・ヨンイル)、ルドビコ 文 彰建(ムン・チョンゴン)の両神学生が京都教区を訪問しました。8月4日(日)10時半のミサ後、ヴィリオンホールで花井神父様、河原町教会信徒の皆さんとの交流会が行われました。



金神学生 文神学生 花井神父様

■召命の道へのきっかけは家族

【文神学生】わたしの家族は9人で、兄が神父です。兄が神学校に入ったときに、わたしもカトリックの洗礼を受けました。大学卒業後教職(数学)に就いていましたが、神学校に入り司祭を目指しています。35歳です。
【金神学生】わたしは5人家族で、家族全員がカトリックで、幼児洗礼です。父は入門講座の先生で、父や母の熱心な信徒としての姿を見ながら育ちました。高校卒業後神学校に入りました。途中2年間の兵役に行きました。現在、神学生6年目、26歳です。

■信仰を育てる環境と習慣

【金神学生】韓国では子どものミサ、中高生のミサ等、子どもたちがミサに参加する機会がたくさんあります。また、子どもは教会が面白くなければ来ません。教会に来ない子どものためには、キャンプ等楽しい行事を準備しています。わたしは小さい頃から侍者奉仕をしながら神父様と一緒に行動し、自然に教会になじんでいました。信仰を育てる環境が大事だと思います。

■信仰は父母から受け継ぐ

信仰は習慣が大きな意味を持っています。子供は父母の姿を見ながら信仰を学びます。将来聖職者の道を歩むかどうかはともかく、洗礼を受け、両親の行動の中から神に従う生き方を自然に学んでいきます。

■初めて教会に来た方への配慮

小教区の共同体は、初めて教会に来た人をスムーズに、暖かく迎えるという大きな役目があります。信者はそういう心構えで接することを心がけています。



河原町教会信徒のみなさんとの交流会

評議会議事録が事務室に設置してあります。河原町教会の信徒の方は自由に閲覧できます。ご希望の方は事務室にお申し出ください。

ラジルクマタス慈善協会のバザーを十月六日(日)聖堂前の中庭で行うことを承認。⑩聖堂二階の楽廊への階段の踊り場へ立ち入りができないよう表示と柵を施設管理部で検討。⑪聖堂後方の資料置き場の整理整頓を典礼部聖堂係が検討する。

▼協議事項

⑤WYDに参加の平野さんの報告は「河原町教会だより」に掲載する。⑥サレエル訪れ会 昨年の敬老感謝の日に欠席された方のうち、約二百軒の訪問を完了。⑦キリシタン研究会 九月二十九日開催の高山右近列福祈願朗読劇に向けて準備。

①河原町教会選挙管理委員会規定が正式発効。②クリスマス実行委員会 第一回委員会開催。第二回委員会九月十四日(土)に開催予定。③評議会議事録を閲覧できるように「河原町教会だより」で告知する。④部会登録方法の検討。⑤「部会登録の登録用資料」に基づき各部で検討。次回評議会でも報告。⑥ゆうちょ銀行振込口座開設の検討。⑦教会公認葉書の古いバージョンは無料で配布する。⑧初めて教会に来られた方のために、案内表示板を受付と聖堂入口に設置する。表示板は広報部で検討。また、ミサ典札が分かるように「キリストと我等のミサ」の小冊子二十部(貸出用)準備し、会場整理係と連携し信者がミサの流れを説明する。⑨ブラジル・マタス慈善協会のバザーを十月六日(日)聖堂前の中庭で行うことを承認。

洛東ブロックの施設紹介



松永昌子園長

カトリック山科教会に隣接してアヴェ・マリア幼稚園があります。6代目園長の松永昌子先生にお話を伺いました。

■アヴェ・マリア幼稚園は48年目

アヴェ・マリア幼稚園はカトリック京都教区が運営する幼稚園で、花井神父様は、かつて園長を務められ、現在理事長です。

創立記念日はマリア様の誕生日の9月8日。開設は1965年4月で、今年で48年目になります。これまで3千名を超える園児が卒園していきました。

■マリア様にお祈り

園児たちは朝、園舎に入る前に、まずマリア様にお祈りをします。そして、教室では



みんなで元気に主の祈り

みんなで「主の祈り」を唱えて一日が始まります。元気のいい、かわいい祈りの声が教室に響きます。

■元気あふれる幼稚園ですがその教育モットーは

イエス・キリストの教えに基づき「幼児の心を豊かに育てる」ことを目指し、人を愛する心、いろいろな事柄に感謝する心を大切にしています。また、個人を大切に、やる気のある子、考える子、たくましい子、思いやりのある子に育つよう、主体性を重んじています。子どもたちは快活に、自由にのびのびと活動しています。



広い体育館を駆けまわる

■体操と英語は専門の先生と一緒に週に2日、体操専門の先生が楽しく指導してくれます。鉄棒、マット、なわ

アヴェ・マリア幼稚園



英語の時間

とび、ドッジボール、サッカー……基礎から挑戦し、年長児にもなると逆上がり名人、連続回転名人もいます。

また、週1回の英会話の時間を子どもたちは楽しみにしています。ギブソン先生は当園の1期生。身ぶり手ぶり……全身を使ってのリズミカルな楽しい英語の時間です。3年間で30曲以上が歌えるようになります。英語好きな、グローバルな感覚を身につけた子どもに育ってくださることを願っています。



園バスで送迎



スタッフの皆さん



アヴェ・マリア幼稚園 右側の建物は山科教会

学校法人 カトリック京都教区学園
アヴェ・マリア幼稚園
〒607-8416 京都市山科区御陵中筋町3
TEL 075-592-6404

河原町教会八月評議会報告抜粋
開催日時 二〇一三年八月四日(日)
一三時～一五時

▼司祭団より

二〇一三年四月より村上眞理雄神父、村上透磨神父が地区の協力司祭に任命され、それに伴い交通費等の経費はプロック、小教区ではなく、地区が負担します。そのため各小教区からの交通費御礼等は不要です。

▼各部報告

典礼部 ①日曜日午後の受付担当を部内で募った結果、十数名の応募があった。ガードマンの勤務時間を十五時から変更する。②プロック会議 九月十四日(土)に桃山教会で行う。

財務部 部員の都合や高齢化による部員の減少のために、新たな人選が必要。施設管理部 ①教会財産管理データ作成を八月六日から開始する。②新

献金箱が完成し、近く納品される。広報部 ①広報部としての業務目的、業務内容を改定し、実際に行っていない業務は外した。②資料整理担当者が地下五号室にある古いイクトウスの整理を行う。③部会専用掲示板について次回部会で検討する。

教育部 ①七月十三日「テレビでもっともにささげるミサ」の一学期終業式を行い、皆勤・精勤賞授与。②八月一日～七日教区高校生大船渡ボランティア合宿に三名参加。③八月八日～一〇日土曜学校錬成会小学生二十一名を含む四十名が参加。指導は鶴山進栄神父。④八月五日～七日教区中学生

広島巡礼に六名が参加。

●2013年9月～11月の行事予定●

(10月、11月は予定です。変更の場合もあります。)

祝・記念日		行 事 予 定
9/1	日	評議会9月例会
9/15	日	敬老感謝ミサ 10時半 ミサ後懇親会
9/16	月	チャリティーコンサート 午後2時 聖堂 (主催)京都カトリック混声合唱団
9/22	日	大日山墓地清掃
9/29	日	教会美化デー
10/6	日	評議会10月例会 ロザリオの祈り 10月毎日曜10時
10/7	月	～11日(金) 教区司祭黙想会
10/13	日	衣笠墓苑清掃(2回目)
11/1	金	諸聖人の祭日
11/2	土	死者の日 合同追悼ミサ 午後6時半
11/3	日	教区合同墓参 衣笠教会追悼ミサ 午後2時 大日山墓地墓参
11/4	月	振替休日 第34回京都南部ウォーカーソン
11/9	土	評議会11月例会 午後2時
11/10	日	七五三お祝い 10時半ミサ

お 知 ら せ

- ◇9月15日(日)10時半から敬老感謝ミサが行われます。ミサ後、聖堂地下のヴィリオンホールで懇親会が開かれます。
- ◇ロザリオの祈り:10月はロザリオの月です。10月の主日10時半ミサの前に、10時から「ロザリオの祈り」を唱えます。ともに祈りをささげましょう。
- ◇修築特別献金 8月11日(日)現在 9,178,298円
エレベーター設置、会館配水管工事の修築特別献金が目標額2,000万円のほぼ半分に達しました。ご協力ありがとうございます。振込用紙は聖堂入り口の机、受付、3F事務室にあります。引き続きご協力くださいますようお願いいたします。なお、エレベーター設置工事、配水管工事ともに8月初旬に完了しました。

第34回京都南部ウォーカーソンが11月4日(月・休日)に行われます。

今年の支援先は次の予定です。

- 1)東日本大震災復興支援(大船渡) 京都サポートセンター
- 2)ネパール、バンディプール村での教育活動支援 ノートルダム教育修道女会

東日本大震災復興支援 ユスト高山右近列福祈念

チャリティーコンサート

9月16日(月・祝) 午後2時開演 (1時半開場)
カトリック河原町教会聖堂 入場券 1,000円
主催 京都カトリック混声合唱団 指揮 遠藤政樹

河原町教会 ミサの時間

日曜日(主日のミサ)
7:00
10:30
12:00 (英語)
月曜日 6:30
火曜日 6:30 18:30
水曜日 6:30 18:30
木曜日 6:30
金曜日 6:30 18:30
土曜日 6:30
18:30 (主日のミサ)

信仰の学び

どなたでも自由に、途中からでも参加できます。直接会場にお越しください。

◆信仰入門講座◆

(1F 集会室または3F 応接室)

火曜日 10:00 花井拓夫神父 (1F)
19:15 一場修神父 (1F)
水曜日 10:00 村上眞理雄神父 (1F)
19:00 花井拓夫神父 (3F)
木曜日 15:00 花井拓夫神父 (3F)
金曜日 15:00 シスター藤田智子 (3F)
19:15 村上透磨神父 (1F)

◇鶴山進栄神父の個人講座が行われています。ご希望の方は教会事務室にご相談ください。

◆信徒養成講座◆

(1F 集会室)

北村善朗神父「秘跡を学ぶ」

9月5日(木) 14:00

10月3日(木) 14:00

10月31日(木) 14:00

テキスト:『カトリック教会のカテキズム要約』

◆聖書通読会◆

(1F 集会室)

毎週金曜日 14:30～16:00

旧約聖書の創世記から始めて、新約聖書の黙示録まで、グループで輪読しながら全巻を読む集いです。(主催:教育部)

カトリック河原町教会だより 2013.9

発行:カトリック河原町教会 担当司祭:花井拓夫

住所:〒604-8006 京都市中京区河原町通三条上る下丸屋町423

電話:075-231-4785 ファックス:075-211-8021

編集:河原町教会広報部

E-mail:kyoukaidayori@yahoo.co.jp

ホームページ:http://kawaramachi3.com/